

## 第 38 回卒業式 式辞

厳しい冬を乗り越え、校門の桜の蕾が少しずつ膨らみだした、春の訪れを感じる今日の佳き日に、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、兵庫県立播磨南高等学校 第 38 回卒業証書授与式を挙行できますことは、私たち教職員にとりまして、この上ない喜びでございます。高いところからではございますが、ご臨席賜りました皆様方に厚くお礼申し上げます。

まずは、ただいま卒業証書を授与しました 38 回生 149 名の皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんは本校における全課程を修了し、本日、晴れの卒業証書を手になりました。教職員を代表してお祝いを申し上げますとともに、これまで積み重ねてこられた努力と研鑽に心より敬意を表します。

また、今日までお子さまを物心両面から支え、励ましてこられた保護者の皆様、お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。御入学から本日までの間、本校の教育活動に御支援をいただき、心からお礼を申し上げますとともに、こうして卒業式を迎えることができましたのは、保護者の皆様の御理解と御協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

さて、皆さんはコロナ禍のまっただ中に本校に入学され、行動制限のある高校生活に息苦しさを感じたこともあったと思います。行動制限が解除された今年度、潮風祭でのアイデアと工夫をこらしたクラス劇、体育祭・球技大会での元気に楽しく活動している姿から、皆さんの若さ溢れるエネルギーを感じました。皆さんは、コロナに翻弄された世代と言われるかもしれませんが、コロナ禍であったからこそ、これまで当たり前と思っていたことが決して当たり前ではなく、日常の大切さや身近な友人たちのありがたさを感じたであろうことは、むしろ人生にとって大切な気づきを得ることができたのではないのでしょうか。

今日という日は、高校生活のゴールであると同時に、一人一人の新たなスタートでもあります。皆さんの新たなスタートにあたり心に留めておいて欲しいことが 2 つあります。

一つ目は「素直な心を大切にしたい」ことです。皆さんは素直な心を持って高校生

活を送って来られました。しかし、これから進学・就職をして社会生活に慣れていく中で素直な心を忘れてしまうことがあります。社会に出れば高校時代以上に人間関係が複雑になり、コミュニケーションがより大切になってきます。ひとの話を素直に聞く、間違ったら素直に謝る、素直に感謝をする。素直な心を大切にすることで、ポジティブで豊かな人とのつながりを作っていくてください。

二つ目は「逆境を乗り越えていく力」です。これからの長い人生で、失敗してへこむことや挫折して心が折れることもあるでしょう。うまくいかない時は悪いことばかりを考えて、気持ちが塞がってしまいがちですが、そんな時こそ自分の周りにある良い事、うまくいっている事を見つけてください。自分の目線を変えるだけで状況は違って見えてくるはずです。そして、播南の桜を思い出してください。式辞の冒頭でも触れましたが、校門の桜は春に立派な花を咲かそうと、寒さに耐え少しずつ蕾を膨らましています。それは、厳しいコロナ禍での高校生活の中であって、自分を伸ばし、社会へ飛びたって行く皆さんの姿に重なります。春の来ない冬はありません。困難に直面しても、逆境を乗り越え前に進んでいく皆さんでいてください。自分で考え、自らの意志を持ってより良い社会をつくるために行動する人であって欲しいと願っています。

最後になりましたが、ご来賓の皆様、並びに保護者の皆様方のご臨席に、重ねて感謝申し上げますとともに、今後とも、本校へのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

卒業生の皆さん、皆さんは今日で本校を卒業し、これからそれぞれの道を歩んでいきます。この先、迷い悩むことがある時は、いつでも母校を訪ねてください。私たち教職員は、皆さん一人一人の新しいステージでの活躍を心から応援しています。

皆さんの限りない前途が、健やかで、幸多からんことを祈念して式辞といたします。

令和6年2月29日 兵庫県立播磨南高等学校 校長 黒岩 寛